

# 令和7年度収蔵資料展

# 江戸・明治・大正を彩る おひなさま

ひな祭りは、江戸時代に武家や公家の大切な年中行事として執り行われ、市内には江戸時代に地方代官を務めた森村家に享保雛と豪華な雛道具などが伝わっています。明治時代後半から大正期になると、市内の裕福な農家や商家でも雛人形を購入して華やかに飾るようになり、中には高価な市松人形も雛人形と一緒に飾った家もあつたようです。

本展示では、江戸時代には武家や公家の重要な年中行事であったひな祭りが、明治時代後半から大正時代にかけて、次第に庶民の年中行事へと普及していく変化を、江戸・明治・大正期の雛人形で紹介します。



①



③



②



⑤



④

- ① 享保雛(江戸時代後期) ② 次郎左衛門雛(江戸時代後期)  
③ 内裏雛(明治42年) ④ 源氏粹御殿(大正4年) ⑤ 御殿飾り(大正14年)

入場  
無料

令和8年

開催期間

2/13(金)~3/22(日)



伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

〒379-2204 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98番地

開館時間：9時～17時(最終入館は16時30分)

電話：(0270) 63-0030 FAX：(0270) 63-0087

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日)